

# アジア太平洋経済協力拠出金

令和2年度概算要求額 **1.1億円（1.1億円）**

資源エネルギー 国際課  
03-3501-0598

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- アジア太平洋経済協力（APEC）を通じて、域内の国・地域におけるエネルギー効率の向上、エネルギー源の多様化及びエネルギー強靱性の高いシステムをアジア太平洋地域に普及させ、同地域のエネルギー安全保障を高めることを目指し、我が国が強みを有する質の高いインフラ・技術の普及を図ります。
- 平成22年、我が国が主催したAPECエネルギー大臣会合での決定を受け、域内の低炭素化の加速に向け、交通、ビル等の都市を構成する要素に低炭素技術を導入することを目指す「APEC低炭素モデルタウンプロジェクト」を実施し、低炭素タウンの実現に向けた指標の作成や、低炭素化にかかる政策提言等を行います。
- APEC地域内のエネルギーシステムの低炭素化、強靱化に向け、各国・地域との情報交換やベストプラクティスの共有を進めます。

### 成果目標

- APECに参加する国・地域のエネルギー効率の向上、エネルギー源の多様化及びエネルギー強靱性の高いシステムの普及を通じ、同地域のエネルギー安全保障を高めることを目指し、我が国が強みを有する質の高いインフラ・技術の普及を図ります。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### APEC低炭素モデルタウンプロジェクト 事業内容

#### (1) 「APEC低炭素タウンコンセプト」策定

専門家グループが、APEC域内の低炭素タウンを訪問し、APECにおける低炭素タウンの定義や開発計画の方向性を示す「APEC低炭素タウンコンセプト」を作成。また、低炭素タウン実現に向けた自己診断とプロジェクト管理を目的とした「APEC低炭素タウン・インディケータ」を作成。

#### (2) 事業可能性調査（フィージビリティ・スタディ(F/S)）実施

選定されたモデルタウンに対し、下記に関するF/Sを実施。  
・各種省エネ・低炭素技術の採用に関する都市ごとの低炭素戦略の提言  
・これらの技術の採用によるCO2削減効果の定量評価に関する研究

#### (3) 政策診断

専門家グループが、上記モデルタウンを訪問し、低炭素都市開発を可能とするための政策診断・勧告を実施。

### APEC低炭素モデルタウンプロジェクト 選定都市

対象都市	実施年
フェーズ1 天津（中国）	平成23年
フェーズ2 サマイ島（タイ）	平成24年
フェーズ3 ダナン（ベトナム）	平成25年
フェーズ4 サンボルハ（ペルー）	平成26年
フェーズ5 ビトゥン（インドネシア）	平成27年
フェーズ6 マンダウエ（フィリピン）	平成28年
フェーズ7 クラスノヤルスク（ロシア）	平成29年
フェーズ8（普及フェーズ1）ハンダアチ（インドネシア）、シャラム、ハンタンジャヤ（マレーシア）	平成30年
フェーズ9（普及フェーズ2）ダバオ（フィリピン）、ダラット（ベトナム）	令和元年